



クリスマス忘年会



吉田光延 画

発行
社会福祉法人いわき福音協会
はまなす 荘
いわき市平中平窪字二堂田2
〒970-8002 ☎(0246) 8711
編集責任
はまなす荘新聞編集委員会

いわき市総合福祉大会とい
わき市育成会五十周年、高村
育成会会長が「今の若いお母
さん方に入会を勧めても入会
者が少ない。情報はスマホや
パソコンで検索出来ると言わ
れるが、顔と顔を合わせ手と
手を繋ぐから人間の温度が伝
わり、声が大きくなり
運動に発展します」と
力説していました。ま
さしくスマホ時代への
警鐘でしょうか。

さて私の若い時は携
帯電話等無く、家でス
マホだけの会話なし生
活ではありませんでし
た。皆さんは親や家族
と日常的会話をしてい
ますか。私は父と常に
話しました。多分一番
話した親子であったかと思
います。話題は戦争と軍隊・地
主と小作人・選挙・農業等多
岐にわたりました。

特に心に残っている話を紹
介します。「今の二世議員は
余りにも戦争の事を知らな
ざる。多分あの貧しく大変な

自由

所長：庄 司 博 文

時代に苦勞しなかったのだ。
苦勞したら簡単に戦争を口に
しないだろう。人気作家も親
から教えられず育ったのだろ
う」との見解で、戦争や軍隊
経験者がいなくなるこれから
の世代を心配していました。
次に、地主と小作人です。

父の口癖は「今の食事は昔なら益暮れが一緒に来た贅沢な時代だ」でした。一握りの地主に対し大半の小作人は一年中働かずくめであり、「今の格差社会なんて比べ物にならない。昔苦勞した人達は何で子や孫に伝えないのか」でした。現代は豊かになった反面子供の貧困が深刻な問題になっていきます。これらの問題に関心を持ち、世代間で話し合うことが、解決に向けての第一歩になると思います。



南限の花

いよいよ冬本番を迎えます。現代の建物は昔と比べ気密性が高い構造になっており、夏より冬の方が過ごしやすい傾向にあるそうです。しかし部屋を暖かくする為の工夫の余地はまだありません。例えばカーテンは外からの冷気の侵入を防ぐ為に長めで厚めの素材が効果的です。快適な温かさは室温だけでなく「体感温度」にも関わってきます。部屋の中を赤や黄色といった暖色系にする、青や緑の寒色系に比べ体感温度が3℃上がるという調査結果があります。温めるだけでなく加湿も重要です。人は乾いた空気を吸い、体内の水分を含んだ息を吐き出します。湿度の値は六〇％が、ウイルスの繁殖を抑えるのに最も効果的なのだそう。身近な物を工夫して心も体も暖かく潤いのある生活を送りたいと思います。

みはま福祉祭り in はまぎく

九月二日

「第四十一
回みはま福
祉祭」がは

まぎく荘で
開催されま
した。

今年は新
たな祭りを
作り上げて

行くことになり、内容を一新し行いました。残念ながら当日は台風の影響で会場が雨を配慮した配置で行うことになりましたが、皆様のご協力もあって無事に終えることが出来ました。



普通救命普及講習

事も本当に救急車を要請する様な時には、落ち着いて

十二月二十二日普通救命普及講習が自立訓練室で行われました。最初は救急通報訓練をし、女子利用者さんが意識を失い倒れたという設定で、直接消防署に通報し消防署員の方とやり取りをしました。

慌てない事、出来るだけ正確に情報を相手に伝える事が大事であり、訓練だから出来た

アトラクション団体では、九品寺附属平窪幼稚園の園児による鼓笛隊の演奏や久之浜海神乱舞のよさこい、加藤ちやぼさんのラテンパーカッションや渡辺幸子さんによるハンドベルの演奏で会場を大いに盛り上げて頂きました。

また、多くのボランティアの方々のご支援、ご協力まことにありがとうございます。

来年ははまなす荘が会場となりますのでよろしくお願い致します。

桜が丘愛生園との自治会交流会

楽しく交流を深めました。

十月十九日に桜が丘愛生園とはまなす荘の自治会交流会が行われました。今年には桜が丘愛生園にはまなす荘の自治会利用者さん五名と職員二名が訪問し、歓迎の横断幕を

来年は桜が丘愛生園の自治会の方々をはまなす荘に招待する事になります。素敵な交流会になるように準備を進めていきたいと思ひます。

対応する事が出来たと感じました。救命普及では、AEDの使い方や心肺蘇生法の仕方を学び、参加者が普及員に対して沢山の質問をしていて、人の命を助けるんだ！という意識で皆行っているように感じました。心肺蘇生法の胸骨圧迫は思った以上に体力を使うもので、皆息を切らしながらも頑張っていました。毎年行っている事ですが、頭と体で覚え実践出来るようになれば

たらと思ひました。



まず、自己紹介を行いました。その後、桜が丘愛生園の自治会の方々

に施設内を案内して頂き、見学をしました。昼食を食べ

べて、一緒にダンスを行いました。

AKB48の恋するフォーチュンクッキーを踊り、利用者さんからも笑顔

がみられました。その後、ゲームやカラオケを行い、



みはま愛護の会

十一月九〜十日、みはま愛護の会研修旅行（宮城方面）がありました。



一日目は、ニッカウキスキー宮城 峡蒸留所での工場見学へ。工場周辺の樹木の伐採を最低限にとどめ、電線を地下に埋設するなど、自然との共生を大切にする創業者の熱い思いが見受けられました。楽しみにしていた試飲とお土産選びの後は、宿である秋保温泉へ。宴会では、保護者の皆様、職員とで交流を深めさせて頂きました。

二日目、研修先である社会福祉法人白石陽光園へ。午前活動の時間にリハビリ班を取り入れ、時間に余裕をもってより丁寧な機能訓練に取り組

む工夫がされており、はまなす荘も直面する「利用者の高齢化」にどう関わっていくべきかヒントを頂いて

秋のふれあいレクリエーション

十月十二日、毎年恒例となっている秋のふれあいレクリエーションを今年も無事に行うことが出来ました。天気は快晴であり、秋にも関わらず夏に近い気温になり、みなさん汗をかきながら全力で頑張ってくださいました。職員を始め利用者の方々と保護者の方々、ボランティアの方々

きました。保護者の皆様と交流が深まり、充実した二日間となりました。

も一丸となりミュージックケアで体を動かし、職員企画のミニゲームも満面の笑みで楽しまれていました。今年も怪我等もなく無事に終了出来ました。事に心から嬉しく思っております。来年度も参加者全員が楽しく体を動かせるように企画出来ればと思います。

平成二十九年十二月一日に障がい者週間記念行事との事で、はまなす荘から平窪公園までゴミ拾い清掃を行いました。

障がい者週間記念行事

少し寒い日でしたが、寒さに負けず皆さん一生懸命ゴミ拾いを行いました。昨年と同様に吸殻やお菓子のゴミが多く

見られましたが、今年はジュースの缶などのゴミが多く見られました。昨年より歩行できず利用者さんも減りましたが、少ない利用者さんでもたくさんのごみを拾い、綺麗にする事が出来ました。



クリスマス忘年会

十二月二十一日、パレスいわやにて平成二十九年年度クリスマス・忘年会が開催されました。

第一部のクリスマス祝会では、キャンドルサービスに始まり、聖書拝読・讃美歌を全員で歌いました。

乾杯後は歓談の時間となり、美味しい料理を食べ、ドリンクを飲みながら地域の方やボランティアの方との交流を楽しみました。

第二部の忘年会では、カラオケやプレゼント交換を行いました。また、一年の振り返りとして、ボランティアさんとの活動の記録をスライドショーにて上映しました。利用者さん・招待者と楽しい時間を過ごせました。

また今年も日中活動（さくら班）で作成したカレンダーを招待者さんに配り好評でした。

1 班



七月四日から二泊二日にてグループ旅行一班は新潟方面へ旅行に行つてまいりました。

対象になっていた利用者の方々から旅行のアンケートをとり、美味しいご飯を食べた



い。恐竜を観たい。水族館に行きたいなど数々の希望を頂き、新潟県立博物館にて恐竜の模型やプラネタリウムを鑑賞し、火災報知器の誤作動にてちょっとしたアクシデントにもあいましたが、毎月避難訓練を行っていた成果が発揮し、慌てることなく指示に従う事が出来ました。その後、

月岡温泉にてあったかいお風呂に浸かった後、美味しい夕食を食べながらカラオケ大会を行いました。二日目はマリニア日本海にて海の生物を鑑賞し、皆大満足的笑顔ではまなす荘へ帰ってきました。来年はどのような旅行になるのか楽しみです。

グループ旅行 一泊



2 班



十月三日から一泊二日にてグループ旅行二班は仙台方面へ旅行へ行きました。

一日目は仙台ならではの昼食で伊達の牛たんに行き、牛タンシチューを食べました。その後は

アンパンマンミュージアムに行き、アンパンマンショーを見学し、音楽に合わせて体を動かして、歌を歌い楽しみました。宿泊先は日本三景、松島の「花ごころの湯新富亭」にてゆつくりと温泉に入り宴会、カラオケ、ビンゴゲームとゆつくり楽しむことが出来ました。

二日目は仙



台「海の杜水族館」に行きイルカショーと今年から見られるスパークリング・オブ・ライフアンドミュージックを見ました。その後、昼食を「鐘崎笹かま館」にて食べ、常磐道を通り新しく出来た南相馬鹿島サーブエリアにて休憩し、無事に帰所できました。

日帰り班

十月二十七日にグループ旅行日帰り班が日立シビックセンター科学館へ出掛けてきました。天気も良く温かい日で外出日和でした。

生活介護を含め、利用者十二名、職員十名で科学館の



ロボットなどをみながら楽しく過ごし、待ちに待った昼食は、五浦観光ホテルの海が良く見渡せる部屋で食べました。御魚の料理をおいしく頂いてきました。ホテルの売店で思い思いのお土産を購入して往に戻ってきました。体調不良者もケガ人もなく楽しい一日を過ごす事が出来ました。



グループ旅行 日帰り



日帰り医療班

秋晴れの中、十一月七日にグループ旅行(日帰り班)を実施しました。

利用者から「美味しい物(お刺身)が食べたい」「海が見たい」という希望があり、五

浦観光ホテルにて素晴らしい景色を見ながら豪華な昼食を食べてきました。

昼食の後はカラオケとお楽しみ抽選会を行い、大いに盛り上がりました。カラオケではノリノリで楽しそうに歌っている利用者の笑顔がとても印象的でした。



ピックアップ

はまなす荘 カレンダー製作



日中活動のさくら班では、四月から翌年のカレンダー製作が始まります。

その日の気分で今日はぬり絵・紙ちぎり等職員に教えてもらいながら一つ一つ季節の作品を折ったり、サンタクロースの顔を描いたりと数か月かけて制作してきました。同じものはありません。それぞれ「あじ」のある世界にひとつだけのカレンダーです。じっと見ていると何とも言えないほほえましい表情に心が和みます。傾き加減や顔の形、目の大きさ等作ろうと思ってもなかなか真似のできない力作ぞろいです。製作中に全員で「かわいい〜」「誰かに似ている。」と笑いがおきたりしました。カレンダー

は作品展示の方法であると考えています。

「誰が、どこに飾るのかな?」とつぶやきながら作成している姿が印象的でした。



寄附

丹野近子様
イトーヨーカドー様
(順不同)



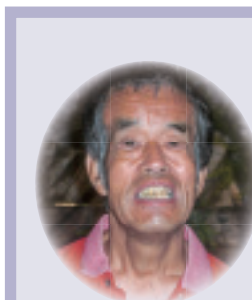
退職職員

支援員補助
幾世橋英子
さんが退職されました。



お悔やみ

平成元年四月一日より入所されていた齊藤実さんが平成二十九年十月二十九日に永眠されました。
ご冥福をお祈り申し上げます。



新入職員紹介

New Face Introduction

- ①名前 ②職種 ③趣味・特技 ④抱負



①高萩京香(たかはぎきょうか)
②支援員補助
③マッサージ、指圧、足つぼ
④十一月から勤務させて頂いております。業務に早く慣れて、毎日楽しく明るく元気に利用者さんと豊かな時間を過ごせらうと思います。どうぞ宜しくお願い致します。

編集後記

今年は成年です。様々な目標をみなさん立てているのではないのでしょうか。みなさんにとって、実りある素敵な一年になりますように。

